

明治維新、その先へ

其の一

明治維新150年の取組

特別協力
The Tokugawa Museum
徳川ミュージアム所蔵
©徳川ミュージアム・
イメージアーカイブ/
DNPpartcom

平成30年は、日本が近代国家の形成を
図っていく中で歴史の転換点となった、明
治改元から150年の節目の年です。

日本に近代化と西洋化をもたらした明治
維新。そこに至る歴史において、水戸藩の
教育的伝統によって培われた学問、理念、
人材は、新しい時代の魁として大きな原動
力になりました。

そこで市では、水戸が果たした役割を、
市民の皆さんに改めて学び親しんでいただ
き、次の世代へつないでいくため、さまざま
な記念事業を展開。その一つとして、明
治維新150年の取組のイメージを具体化
する、本市独自のキャッチフレーズとロゴ
マークを作成しました。

キャッチフレーズは、「水戸が天下の魁
と呼ばれたのには理由がある」過去を振り
返し、未来を考える」です。当時なぜ水
戸が魁と呼ばれたのかを学び、未来に生か
してほしいとの思いを込めました。「過去
を振り返り、未来を考える」は、中国の古典

に記された「彰往考来」を分かりやすく言い
換えた言葉です。「彰往考来は、徳川光圀公
が設立した彰考館の由来にもなっています。

ロゴマークは、未来をイメージし、水戸
を「MITO」と表記。また、徳川ミュージ
アムの特別協力を得て、「O」を水戸徳川家の
家紋とし、水戸らしさを表現しました。そし
て、水戸市の紋章の「青」と明治時代に制定
された国旗の「紅」を採用することにより、
水戸と近代日本の関わりを表現しています。

この連載では、水戸の先人たちの紹介を
はじめ、シンポジウムや水戸城大手門復元
整備、歴史アニメーション制作、横山大観
生誕150年記念セミナーなどの記念事業
を紹介していきます。

市民の皆さんが参加したり、見学したり
することが出来るイベントも数多く開催す
る予定です。水戸の先人たちが生きた時代
を振り返り、水戸、日本、そして世界の未来
について考えてみませんか。
問合せ／政策企画課(☎350・1580)

明治維新150年記念事業

水戸城想定模型の展示

4月1日(日)からリニューアルオープンする市立博物館で、水戸城想定模型を展示します。模型は昭和56年から常設していましたが、老朽化が進んだことから、修復を行っていました。

水戸城は、下の丸、本丸、二の丸、三の丸からなり、土造りの平山城としては国内最大級の規模です。城内の建造物には、城郭の正門である大手門や実質上の天守であった三階櫓などがありました。特に、三階櫓は、昭和20年に戦災で焼失するまで水戸のシンボルとして親しまれました。

水戸徳川家の居城であった水戸城。その様子を今に伝える水戸城想定模型を、ぜひご覧ください。

模型サイズ／幅1.88m×奥行1.88m
開館時間／午前9時30分～午後4時45分
休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)
問合せ／市立博物館(☎226-6521)

